

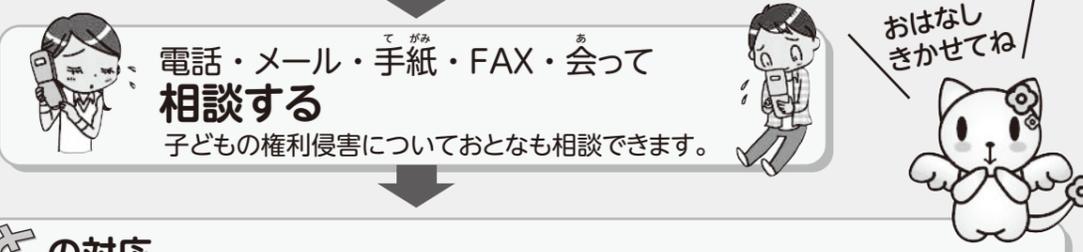
相談を受けてからの流れ

子どもにはまもられる権利、大切にされる権利があります。おとなでも子どもでも、この権利を侵害してはいけません。これまで相談してうまくいかなかったことも「せたホット」に話してみませんか。(自分のことでなくても大丈夫です)
秘密は必ず守ります。 ※お金はかかりません

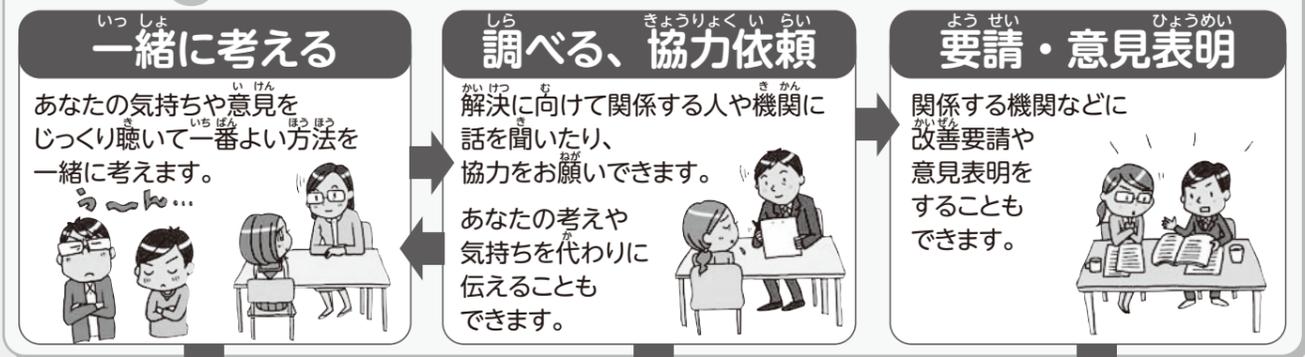
例えば、こんなとき...



つらい、悲しい気持ちになったら...



せたホットの対応

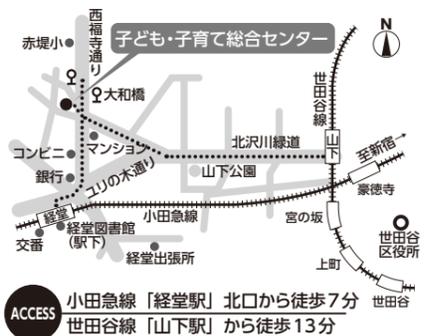


もう大丈夫。安心できたよ。
 困ったことが出てきたらまた相談してください。相談が終わっても、必要があれば見守り支援をします。

せたホット

相談時間 月～金：午後1時～午後8時
 土：午前10時～午後6時(日曜・祝日・年末年始をのぞく)
相談電話 フリーダイヤル ホット にきゅうさい **FAX**
0120-810-293 03-3439-6777
 *携帯電話・PHS・公衆電話からも無料でかけられます。

せたホットホームページ
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/103/137/545/d00126031.html>



所在地
 〒156-0051 世田谷区宮坂3-15-15
 世田谷区立 子ども・子育て総合センター3階

せたホットとレター

..... 第6号

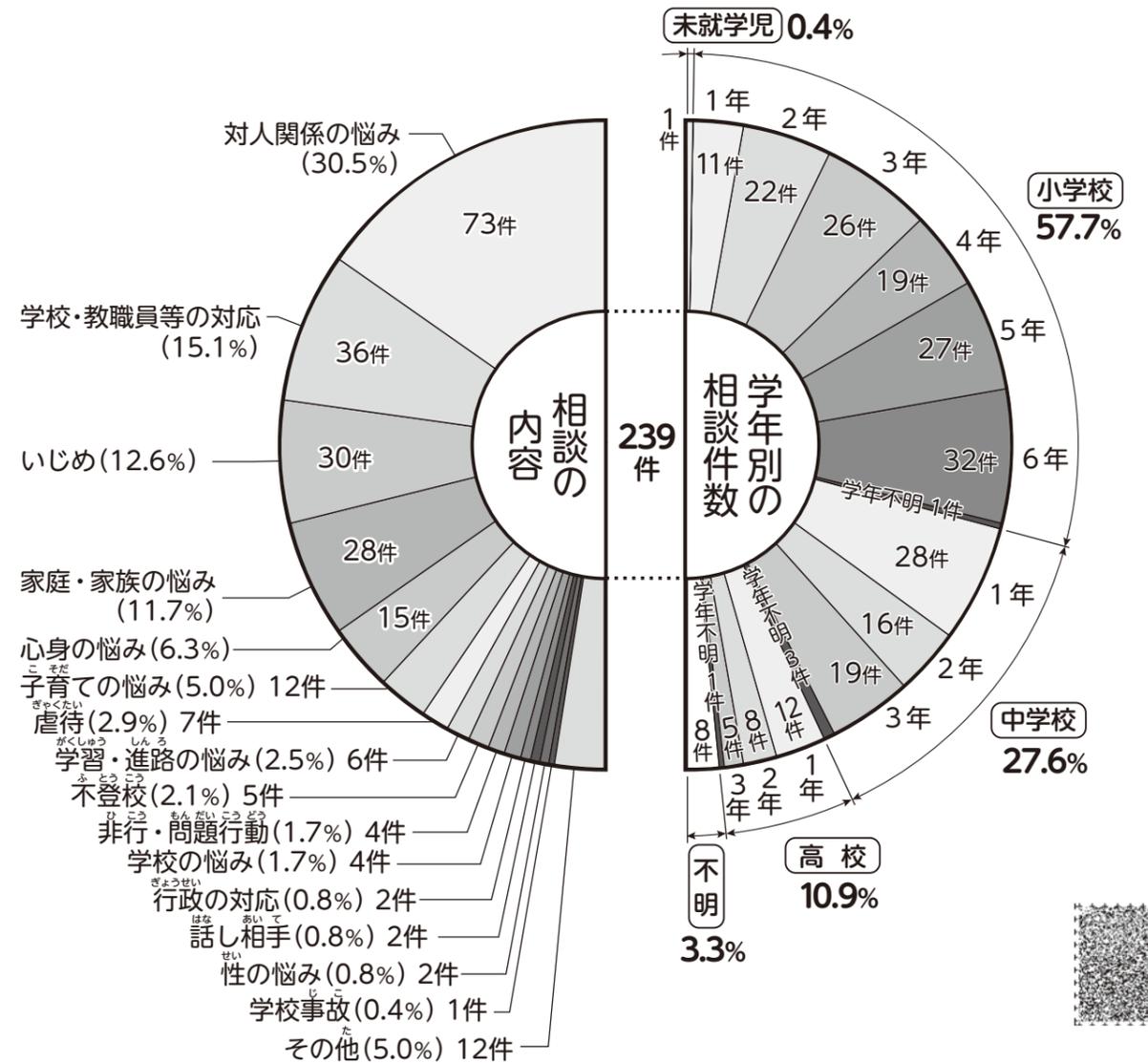
～子どもたちの思いに寄り添いながら～

平成27年度の活動報告会

7月16日(土)に、北沢タウンホールで27年度の活動を報告しました。新規相談件数は239件、前年度からの継続相談を合わせると304件の相談があり、231件が終了しました。委員と専門員の総活動回数は、2,047回です。新規相談件数の内訳は、小学生に関する相談が(138件、57.7%)を占め、次いで中学生(66件、27.6%)、高校生(26件、10.9%)、未就学児(1件、0.4%)、不明(8件、3.3%)でした。学年ごとに見ると、小学校から高校までどの学年からも一定の相談があります。



相談内容としては、「対人関係の悩み」73件(30.5%)が最も多く、「学校・教職員等の対応」36件(15.1%)、「いじめ」30件(12.6%)、「家庭・家族の悩み」28件(11.7%)、「心身の悩み」15件(6.3%)と続きます。





いじめ予防授業

“せたホット”の活動報告会において弁護士の平尾潔先生に講演をしていただきました。ここでは平尾先生の行っているいじめ予防授業について紹介します。



▲平尾潔先生による講演の様子

みなさんに質問があります。

Q1. いじめがあった時、いじめられる人にも問題があると思いますか？

ある ない

「ある」と思ったみなさんへ。その、いじめられる人は「意地悪をした人」や「人の嫌がることをした人」でしょうか？では、あなたは、そういうことをしたことが一度もないでしょうか？そんなことはないはずです。

悪いからいじめてもよいのなら、誰をいじめてもよいことになってしまいます。それでは安心して学校に通えなくなってしまう。何か理由があっても、それを理由にいじめてはいけません。

もう一つ質問があります

Q2. いじめに加わっていない、いじめを見ているだけの人がいます。その人はいじめに関係があるのでしょうか？

ある ない

見ているだけの人も、関係があります。何故なら、見ている人にも出来ることがあるからです。いじめられている人をみんなの前でかばってあげるのはとてもむずかしい、勇気の必要なことです。でも、いじめられている人が一人の時にそっと「あなたは一人じゃない」と言ってあげる、いじめがあることを先生にこっそり言うこと。それは少しの勇気で出来ることではないでしょうか？



心の中のコップの水

みなさんの心の中には目に見えないコップがあります。そのコップは嫌なことがあると少しずつ水が溜まっていきます。そのコップの水がいっぱいになって、心が深く傷ついてしまうといわれています。

もし、相手のコップの水がいっぱいだったら、ほんの小さな悪口でも、コップの水をあふれさせる最後の一滴になるかもしれません。

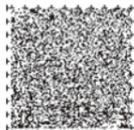
あなたに悪気が無く言った言葉でも、相手をどんな気持ちにしようかは分かりません。相手の気持ちを考え、慎重に言葉を選んでくださいね。



最後に

いじめの辛さによって、命を絶ってしまった子どもたちがいます。そこまで人を追い詰めてしまうのがいじめです。みなさんは誰しも、幸せな人生を生きる権利を持っています。そのことを忘れないでくださいね。

(平尾先生の講演を基に、せたホットが執筆しました。)



せたホットと相談者の声

みなさん、いじめられていやな気持ちになったことはありますか。そしたら、ここ、せたホットに電話してみてください。ここに電話すると、どんななやみがあっても、かいけつしてくれます。ぼくは学校でノートや教科書、ドリルをまとめてけられたりしたことがありました。そんなすぐいやなこともここに相談したら、ぼくの味方になってアドバイスをしてくれたので、心が軽くなりました。ぼくは、電話をする前は、いやな気持ちだったけど、電話をしたらすっきりしました。ぼくはずっといじめられていたから、なかまがあまりいないと思っていました。でも、先生とクラスみんなで話し合いをして、ぼくがこれからどうしてほしいかを伝えました。「みなさん、いじめられている人がいたら、いじめにのらないで、いじめられている人を助けてあげてください。」とみんなの前で言いました。そしたら、よく日みんなはぼくの味方してくれるようになりました。

せたがやホットと子どもサポート活動報告書〈平成27年度〉から抜粋

リオオリンピック金メダリスト 白井健三選手からのメッセージ



皆様へ
自分を信じて
自分を大切に
体操 白井健三

▲色紙は「せたホット」事務局(子ども・子育て総合センター3階)の入口にかざらせていただいています。

おとなってこどもって

絵 えみ

